

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院産婦人科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：

宮崎県における子宮頸がんバス検診受診者の年齢に関する後方視的検討

1. 研究の概要

子宮頸がんを撲滅する目的で、WHO は、子宮頸がんワクチン接種、子宮頸がん検診受診、子宮頸がんの治療の3つの柱を推進することを提唱しています。子宮頸がん検診には、施設検診とバス検診の2つがあります。この内、バス検診は、様々な地区に検診バスで、直接、出向くため、受診者のアクセスの利便性がある一方で、検診日が限定されるという欠点があります。検診日の限定は、受診者の年齢層に影響を与えることが予想されます。

子宮頸がんの好発年齢は、30～40歳代で、近年は20歳代で罹患する女性の割合も増えてきています。そこで、この年齢層の女性が、バス検診受診者のどれくらいの頻度を占めているのかを明らかにする事および検診率をあげるための方策が受診年齢層へ与える影響を明らかにすることを目的として研究を行います。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学大学院看護学研究科 金子 政時

【研究分担者】

宮崎大学大学院看護学研究科 谷口 光代

宮崎大学大学院看護学研究科 吉永 砂織

宮崎大学大学院看護学研究科修士課程 富来 由華

2. 目的

本研究は、宮崎県の子宮頸がんバス検診受診者を対象に、受診者年齢層と子宮頸がん検診受診促進の方策が受診者年齢に与える影響を明らかにすることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から2026年3月31日まで

4. 対象者

2022年4月から2024年3月に宮崎県で子宮頸がんバス検診を受けられた方が対象となります。

5. 方法

健康倶楽部が保有している対象となる方の検診情報から、受診場所、受診曜日、受診時間帯、年齢に関する情報を利用させていただき、これらの情報をもとに検診者の年齢層や検診日の曜日や時間帯の検診者の年齢層に与える影響を検討します。

- 本研究で利用する情報の内容：子宮頸がんバス検診受診者の受診場所、受診曜日、受診時間帯、年齢

< 既存情報の提供のみを行う機関 >

一般社団法人 日本健康倶楽部 宮崎支部 統括支部長 谷口 昇
宮崎県日向市 市長 西村 賢

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の獨創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院産婦人科科

氏名 金子政時

電話：0985-85-0988

FAX：0985-85-6149